高等部協働班　作業学習　学習指導案（略案）

日　　時　令和８年 11 月６日金曜日
　　第２校時　10：20～11：10
場　　所　高等部１学年教室
授 業 者　外山小織（T1）平田祐也（T2）

１　単元名　「現場実習をがんばろう」

２　単元のねらい

・働くことの意義を知り、自ら仕事に取り組む。（自ら学ぶ生徒）
・場面や必要に応じて周囲と協力して仕事に取り組む。（社会性のある生徒）
・働く生活を通して自分の強みや弱みを知り、自分の進路について主体的に考える。
（挑み、磨く生徒）

３　単元の指導計画（８７時間　本時８５／８７）

次	時数	学習活動	取り扱う教科等の内容	知・技	思・判・表	主
1次	4	○作業場所づくり ○仕事内容、目標等の確認 ○手順の確認、練習	【国語】高１段階 ア言葉の特徴や使い方（カ） 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 ア	○ ○		
2次	81	○ネジの計量 ○箱詰め ○検品（報告・相談）	【国語】高１段階 ア言葉の特徴や使い方（イ） 【国語】高１段階 A聞くこと・話すこと エ 【数学】中１段階 C測定ア（ア）㋑㋓ 【数学】高１段階 C変化と関係 ア（イ）㋐ 【職業】高１段階 A職業生活 ア（ウ） 【職業】高１段階 A職業生活 イ職業（ア）㋔ 【職業】高１段階 A職業生活 イ職業（イ）㋐ 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 ア	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	 ○
3次	2	○作業場所の片付け ○活動の振り返り	【国語】高１段階 B書くこと ア 【職業】高１段階 C産業現場等における実習 イ		○ ○	

４　本時について

（１）本時のねらい

・効率のよい仕事の方法を考え、仲間と協働して作業に取り組むことができる。
（挑み、磨く生徒）

（２）本時の学習活動・取り扱う教科等の内容

学習活動	取り扱う教科等の内容
○ネジの計量 ○箱詰め ○検品（報告・相談）	【国語】高１段階　ア言葉の特徴や使い方（イ）＜知・技＞ 相手を見て話したり聞いたりするとともに、間の取り方などに注意して話している。 【国語】高１段階　A聞くこと・話すこと　エ　＜思・判・表＞ 相手に伝わるように、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。

	【数学】中1段階　C測定　ア量の単位と測定に関わる数学的活動 （ア）　＜知・技＞ ㋑重さの単位（g、kg）について知り、測定の意味を理解すること。 ㋓長さ、重さ及びかさについて、およその見当を付け、単位を選択したり、計器を用いて測定したりすること。 【職業】高１段階　A職業生活　イ職業（ア）　＜知・技＞ ㋓使用する道具や機械等の特性や扱い方を理解し、作業課題に応じて正しく扱うこと。 ㋔作業の確実性や持続性、巧緻性を高め、状況に応じて作業している。 【職業】高１段階　A職業生活　イ職業（イ）　＜思・判・表＞ ㋐作業や実習における役割を踏まえて、自分の成長や課題について考え、表現している。

（3）　本時の個別の支援・手立て、評価の判断の基準、評価

	本時の個人目標	学習活動	評価の「判断の基準」 ▶支援・手立て
J	仲間と言葉でのやり取りをしながら、協力して仕事をすることができる。	報告・相談	仲間の報告に返事をし、班員全員に聞こえる声で、報告や相談をしながら、仕事をすることができる。 ▶報告への返事や、報告や相談について確認すると共に、できたときは良かったポイントを伝えて、称賛する。
M	達成可能な目標を設定し、最後までやりきることができる。	ネジの計量・箱詰め	教員と前日を振り返り、達成可能な目標を設定し、やりきることができる。 ▶教員と前日を振り返り、達成可能な目標を設定、確認することで、最後までやりきれるようにする。
Q	周りの様子を見て、仕事の段取りを考えて、仕事に取り組むことができる。	ネジの計量・箱詰め	滞っている作業を見つけて、自分がその作業に入ったり、仲間に呼びかけたりすることができる。 ▶事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入ると段取りよく進められるか、考えやすくしておく。
R	自ら報告や相談をし、仲間と協力して仕事をすることができる。	報告・相談	ミスに気付いて、すぐに報告し、仲間と協力して仕事をすることができる。 ▶事前に、ミスをした際、すぐに報告することの大切さを再確認するとともに、すぐに報告できたことを肯定的に評価する。
S	周囲の人の動きに合わせて、作業内容や作業の速さを考えながら取り組むことができる。	ネジの計量・箱詰め	仲間の動きや作業の進度を見て、自分の入る作業を仲間に伝えて取り組むことができる。 ▶事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入るとよいか考えやすくしておく。
U	効率を考えて活動に取り組むことができる。	ネジの計量・箱詰め	滞っている作業を見つけて、自分がその作業に入ったり、仲間に呼びかけたりすることができる。 ▶事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入ると効率よく進められるか、考えやすくしておく。
X	周りの様子を見て、効率を考えて、仕事に取り組むことができる。	ネジの計量・箱詰め	周りの様子を見て、どの仕事に入るとよいか考えて仕事をすることができる。 ▶自分の仕事だけに集中しているときは、合間に周りの様子を確認するように促す。

※R,S,X は、当日は校外実習で不在

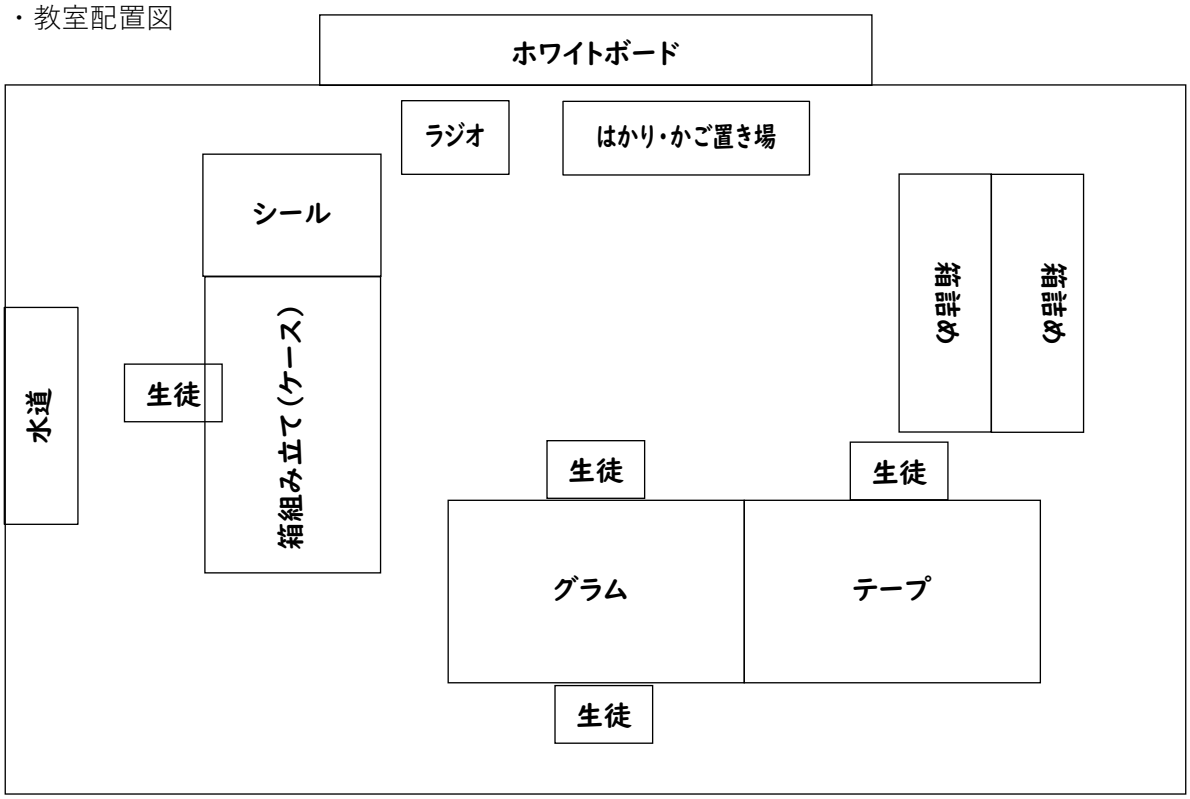
（4） 本時の展開

時間	学習活動	教員の動き（〇） 支援（・）
5分	〇挨拶（号令：Q） 〇作業状況とポイントの確認	〇現場実習最後の授業であること、現在の作業の進度を確認する。（T1） 〇生徒Mへ事前に自分が入る作業やその作業の目標を確認することで、最後までやりきれるようにする。（T2） 〇生徒 Q へ事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入ると段取りよく進められるか、考えやすくしておく。（T1） 〇生徒 R へ事前に、ミスをした際、すぐに報告することの大切さを再確認する。（T1） 〇生徒 S へ事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入るとよいか考えやすくしておく。（T1） 〇生徒 U へ事前に、現在の作業状況を確認しておくことで、どの作業に入ると効率よく進められるか、考えやすくしておく。（T1）
30分	〇仕事開始 ・全員で仕事の分担を相談し、担当の仕事を開始する ・作業工程は以下の通り ＜ネジの作業＞ ① 箱の正しい位置にシールを貼る ② 箱を組み立てる ③ 箱に正しい重さのネジを入れる ④ 箱にテープを貼る ⑤ 段ボール箱に正しい向きで詰める ※生徒J、M、Q、R、S、U、X：①～⑤ 生徒J/M/Q/R/S/U/X 判断の基準	〇生徒全員で仕事の分担をする様子を見守り、必要に応じて助言する。（T1、T2） ・箱詰めできた数と残りの数をホワイトボードに記録し、意識して最後まで作業できるようにする。（T1） 〇箱に貼ったシールの位置、箱の組み立て、量ったネジの重さ、箱のテープを確認する。（T1、T2） 〇生徒Jへ報告への返事や、報告・相談について確認すると共に、できたときは良かったポイントを伝えて、称賛する。（T1、T2） 〇生徒Xへ自分の仕事だけに集中しているときは合間に周りの様子を確認するように促す。（T1、T2）
5分	〇個別の振り返り	〇全体の仕事を続けたまま、順番に個別の振り返りを記入し、教員と評価を確認する。（T1、T2）
5分	〇片付け ・道具の返却 ・テーブル上の片付け ・製品へ布かけ	〇タイムキーパー（生徒U）の言葉がけをきっかけに、片付けを見守る。（T1、T2）

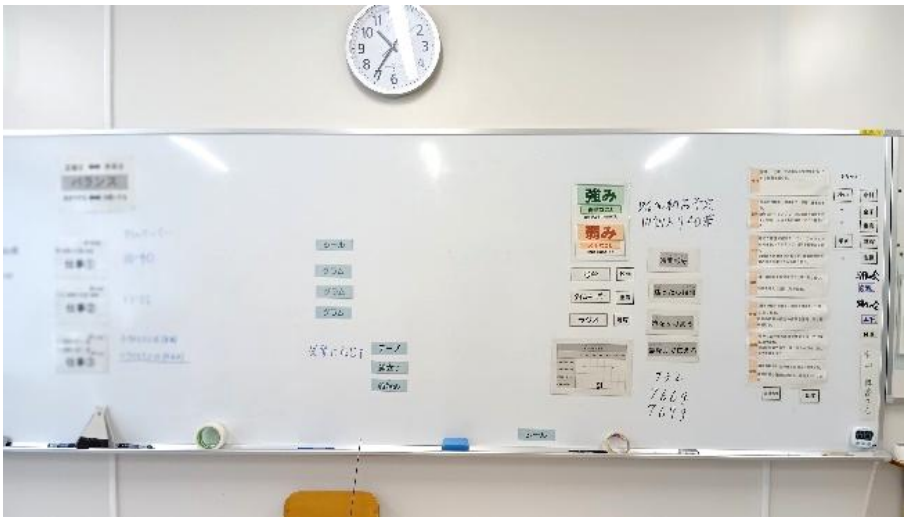
5分	○全体の振り返り ・完成した箱の数、振り返り ・次回の確認 ○挨拶（号令：Q）	○完成した箱の数、良かった点や改善点、次回についてを確認する。（T1）

5　備考

・教室配置図



・教室前掲示



・ネジのグラム



・ネジの検品

